

# 学校だより

## 2月号

平成30年 1月31日発行  
さいたま市立本太小学校  
Tel 048-882-3007  
http://motobuto-e.saitama-city.ed.jp  
e-mail motobuto-e@saitama-city.ed.jp

### つぼみの時期 ～ 春を間近にひかえて ～

校長 井出 了一

4年ぶりの大雪が降り、今も校庭や通学路にずい分残っています。しかし、正門わきの桜の花芽はだいぶ膨らんできました。3学期が始まってはやひと月、まだまだ寒い時期ですが、校内には子どもたちの明るい笑顔と元気な声が響いています。よく「2月は逃げる、3月は去る」と言いますが、今のクラス・学年で過ごす日々も残り少なくなってきました。今年度をさらに充実させて締めくくってほしいものです。

進級や卒業をひかえた3学期、子どもたちにこの詩を贈りたいと思います。作者の宮澤章二氏は埼玉県の御出身。東京大学文学部を卒業後、高校の国語教諭を経て詩人・作詞家となり、校歌や合唱曲、童謡などの作詞を多数手がけました。また『ジングルベル』の訳詞者としても知られています。合併前には大宮市教育委員長も務めました。詩『行為の意味』の一節「思いは見えないけれど、思いやりは見える」がACジャパンの公共広告に使用され、震災後のテレビ放送で話題になりました。



#### 独りではない

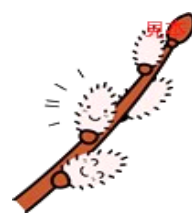
宮澤章二

ひとりつきりで耐えねばならぬ季節には  
ひとりつきりで耐える強さを持つとう・・・  
草の芽たちは みんなそうして育った  
けれど 育つてみると独りではなかった  
まわり中に 同じ強さを持つ仲間があふれ  
ありあまる若さで光り合っているのだ

ひとりつきりで咲かねばならぬ季節には  
ひとりつきりで咲く勇気を持つとう・・・  
花のつぼみたちは みんなそうして開いた  
けれど 開いてみると独りではなかった  
まわり中に 同じ勇気を持つ仲間があふれ  
香り合う美しさで共に輝いているのだ

勇気に満ちた強い心 それを命を磨く  
磨かれた命は仲間を呼び 仲間に出合い  
はればれと生き抜く宇宙を そこにつくる

「行為の意味―青春前期のきみたちに―」



「耐えねばならない時には、一人で耐えるしかない」一見厳しく聞こえるかもしれませんが、よく読むととても温かい詩です。誰にも耐えなければならない時期があり、一人だけでやり抜かなければならないことも実際にはたくさんあります。それは自分の責任で頑張るしかないのですが、「自分だけじゃないよ」と言ってくれているのです。何かに耐えてきた人ほど、また何かをやり切った経験を持つ人ほど、同じ苦勞をした人の気持ちや痛みが分かるのではないのでしょうか。

また、同じように乗り越えたものを持っている人に出会うと、妙に嬉しいものです。淋しさが急に薄れていき、辛いのは「自分だけじゃなかった」大変なのは「自分だけじゃなかった」頑張っているのは「自分だけじゃなかった」そう思うだけで、元気が出てきます。

思春期の子どもたちにとっては、友達ほど財産となり、勇気となる存在はないでしょう。初めて家族のほかに大事な存在に出会えるのがこの時期ではないのでしょうか。自分を信じて一步を踏み出しチャレンジし、よき仲間に出会ってほしいものです。